

閣

大

密第一〇ニ號其ニ

三月六日

第八號

B

第六第八號

電報譯三

月五

日午前

後六

時

三

十

分

發

著

軍事省

大 臣 宛

發信者

朝鮮

軍兵

逐次報告

如り各地

の情況

ハ益々

險惡ニシテ

西比利亞

派遣ニ

甚ダ

苦痛ヲ

感ズルニ

萬

難ヲ

排シ

實施ス

依テ

内地

ヨリ

繰合得

ル限リ

可成速

カニ

補充セ

ラル

様ニ

ヲ煩ラハシタシ

總督

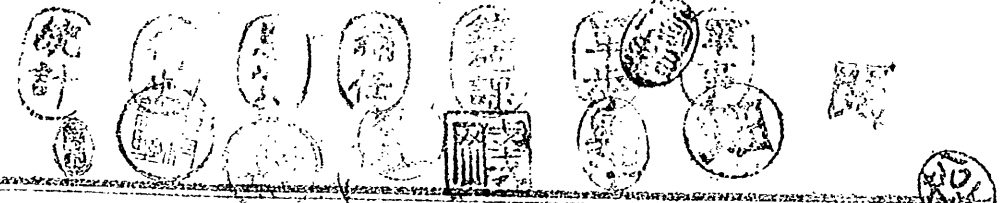
モ同意

見ナリ

65

陸軍

0071



巻第一の二三

三月六日

第五號

電報譯

三月

六日

日午前午後

六時

三分著

宣明會

大臣宛

發信者

朝鮮軍

京特第 四号

66

一、慈山^{シユタセン}（平壤東北方約八里）ニ於テ、四日ヨリ鮮

人囚人宥兵分遣署ヲ發表數手セントスル情況アリ

三日午後六時生兵分七十七隊隊ヨリ一小隊（三名）

ヲ派遣セリ

二、鎮南浦ニ於テハ其後情況平穩ナルヲ知テ

將校以下十五名ヲ止メ他ハ歸還セリ

三、咸州ニ於テハ四日午後一時鮮人約六千集團シ不

Handwritten notes and a red seal on the right margin.

0072

三
一
一

穩ノ行動アリシヲ以テ敢言察ヨリノ依頼依リ内
 地ニ接シ護隊出勤シ銃剣ヲ使用シ鮮人ノ脚ヲ
 刺釋シ多シモノ六ツ出シ全部退散セリ我兵ノ
 微傷二銃剣折損一アリ當地方即蘇教
 徒ノ煽動盛ナルカ如シ
 四新義州ニ於テハ四日午後三時鮮人約六百
 集團強擾セシカ同地守備隊敢言察ト協力
 解散セシナタリ
 五咸興(咸鏡南道)ニ於テハ四日午後一時強擾
 アリ一時鎮守セシカ形勢尚不穩ナルニヨリ敢言
 察ノ要求ニ依リ將校以下百名ヲ出動セシメ

67

0073

警備中

六車城ニ於テ、三日以後漸ク鎮靜ニ向ヒシラ
次テ^{ゼンホウキニコウ}前^{ゼンホウキニコウ}輪^{ゼンホウキニコウ}金^{ゼンホウキニコウ}谷^{ゼンホウキニコウ}ニ差遣セシ五隊、他警備隊
ノ歩兵ニ中隊ニ減シタルカ、四日夜半、野人等
團^{ゼンタイカンセン}五日^{ゼンタイカンセン}前^{ゼンタイカンセン}大^{ゼンタイカンセン}門^{ゼンタイカンセン}前^{ゼンタイカンセン}ニ集會セントスル情況アリ、五
日早朝ヨリ歩兵一中隊ヲ大^{ゼンタイカンセン}門^{ゼンタイカンセン}附近ニ出セリ
同^{ゼンタイカンセン}日午前十時群衆約一万南大門^{ゼンタイカンセン}ニ集
會約五十名逮捕セシニ群衆退散セリ

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

0075



密第一〇二號 共ニマ

第二九號

電報譯

三月

五日 午前九時

午後一時 三分

陸軍省

大臣宛 發信者 朝鮮駐屯軍司令官

朝特第15号

一、甑山(平壤西方約八里)ニ於テハ四日午後三時鮮人
 暴徒宝窓兵署ヲ龍衣ヒ憲兵上等兵一補助員
 三ヲ殺シ補助員住宅ニ放火セリ依テ江西洲遣
 部隊ヨリ將校以下十一名ヲ急派セシ暴徒ハ退却
 セリ

二、情況前記ノ如クナルヲ以テ鎮南浦ヨリ歸還ノ途
 ニアリシ將校以下十五ヲ江西ニ増加セシム

69 0076

三陽德(平壤東方二十五里)ニ於テハ五日午前

韓人暴徒憲兵分隊ヲ籠衣ヒ憲兵及内地人

協力シテ之ト對抗中九報ニ接シ成州派遣部隊

ヲ將校以下十六名ヲ自働車及自轉車ニテ

急派セリ

四、中和及祥原ニ於テハ昨日以來平穩トナリシヲ

以テ各地ニ將校以下十四名ヲ派遣シ他ハ歸還

セリ

五、国策部發言者、隊員全谷ニ派遣シタル大隊長

ノ指揮スルニ中隊ハ任務ヲ終ヘ本日夕歸還

セリ歸途清津里ニ於テ韓人二百三十名ノ襲撃

70

0076-2

李王ニ殉死セシトセシモ之ヲ阻止セリ

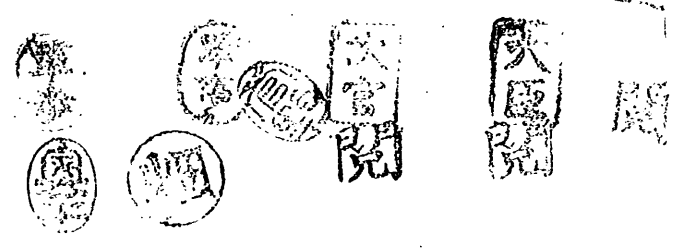
71

0076-3

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

14
15

0077



密第一、二號 共三五

三月七日

第六四號

電報譯 三月六日 午前午後 三時五分 著

陸軍大臣

宛

發信者

朝鮮軍司令官

72

朝特 第一六号

平壤步兵第七七聯隊ニ於テ附近各地派兵ノ為ニ年

兵不足ヲ感シツツアル狀況在ラテ步兵第七十八聯隊

ヲ將校以下約一〇〇名ヲ平壤ニ増援シタキ旨

第十九師團長ヨリ申請アリ 六日午前九時出

發増援セシメタリ

義州ニ於テ其ノ後狀況稍平穩トナリシヲ以テ

下士以下十一名ヲ留メ他ハ新義州ニ歸還セリ

陸軍

0078

三、五日夜ニ於テ、各地各表面木概子鎮靜
ニ歸セシモ尚警戒ヲ要シ且他地方ニ蔓延
ノ兆アリ、

第 一 〇 二 號 共 二 六

三 月 七 日

第 八 七 號

電 報 譯

三 月 六 日

日 午 前 後 七 時

五 分 著

陸 軍 大 臣 官 署

陸 軍 大 臣 宛

發 信 者

朝 鮮 憲 兵 隊 司 官

(六)

前 電 後 京 城 及 他 各 地 共 著 し 申 駁

稟 ナレ

74

陸 軍

0080

第一〇〇二七

電報譯

三月

六日

日午前後

七時

十分

分著

第八〇號

75

陸軍大臣

宛

發信者

朝鮮總督

第五號

京城ハ其後平穩ナリ

平安

南方北道著海

方面ニ於テハ各地ノ騷擾未ク終熄セス尙

不穩ノ徵アリ昨五日陽德ニハ將校以下一六

名ヲ急派セリ而シテ事件發生以來平壤屯

在部隊ハ既ニ十餘ヶ所ニ各一部隊ヲ派遣シ

アルニ事件發生前ヨリ國境守備並ニ旅團援

助ノ為約五中隊ヲ分遣シ了ルヲ以テ既ニ二年号

0081

ノ大部ヲ盡シタルニ依リ尚萬一ニ備フル為軍
司令官ニ必要ニ應シ龍山屯在部隊ヨリ歩
兵一大隊以下ハ京城以北ニ派遣スル下ヲ承認
セリ而シテ軍令官ハ今日總督一行ヲ平
壤ニ向ヒ出發セシメタリ

大臣閣

次官

卷第一〇二號

第一二號

電報譯

三月七日

日午前

五時

分發

陸軍大臣宛 發信者 朝鮮駐劄軍司令官

朝特一七號

一 平壤市街ハ五日平穩ナリシモ尙嚴

ニ警戒ヲ要シ、附近部隊ニ不穩ノ状

アリシヲ以テ六日示威ノ為一部ヲ行

軍セシメ且指道等上 平壤東方約

二里ニ將校以下二十三名ヲ派遣セリ、

タウスイイン(平壤東北約四里)ニ於テハ六日

午後一時鮮人三四百警察署ヲ襲ヒシ

0083

ヲ以テ將校以下二十名ヲ急派セリ。
 成州ニハ五日^ニ前^ニ長官ノ要求ニ依リ更ニ
 増兵シ、現在派遣員將校以下三十二名
 ニシテ午後平穩ナルカ如シ。
 陽徳派遣部隊、將校以下十二名ハ六日
 午前七時到着セリカ。同地ニ於テハ憲兵
 及補助員十数名、内地人二十名警戒シ
 鮮人消防隊約二百名ヲ忠實ニ警戒中
 ニシテ、五日夜ニ於テ集合セシ不逞鮮人
 約四十名ニ追キス。

鎮南浦附近ハ其後靜穩ナルモ江西附

0084

此…定鐘多キヲ以テ勞働者ノ暴動ニ加
ハルヲ顧慮シ、附近ニアル兵力ヲ同地ニ
集結中ナリ。

一般平壤附近人民ハ段ニ獨立成立セシ
モトト思考シ、此カ如ク依ッテ地方官憲ハ
極力其ヲ解シ、ナルコトヲ承知セシムルニ
勉メアリ。

所串館(新義州東南約八里)ニテハ去
ル五日五百ノ鮮人集合シ、アリシヲ以テ宣州
掩護隊ヨリ下士以下十名ヲ派遣シ、午後四
時解散セシメタリ。

0085

隱
算

京城ニ於テハ五日夕稍平穩・歸ルニテ
以テ警備ノ為一中队ヲ殘置ニ地ハ全部
撤去セリ。

80

0086

第一〇二號 共二九

電報譯

三月七日

日午前午後

六時七分

分著

東京春野

第九八號

大匠宛 發信者 朝鮮駐劄軍司令官

朝鮮特第八号

一、同城ニ於テ、六日午後九時三十分、鮮人約一千名、

察四者ニ來襲セシヲ以テ、十時、鐵道掩護隊出

動シ、警官ト協力シテ之ヲ解散セシメタリ、警官

中投石、為負傷四

二、新倉(順川)東方約五里ニ於テ、五日午後三

リ、耶穌教徒及私立學校生徒約一千名、韓

國旗ヲ携ヘ、独立萬歲ヲ唱ヒ、各團ニ強制シ

0087

テ旧韓國旗ヲ掲揚セシメタリ警官之カ儀
 歴ニ切ムルモ容易ニ鎮靜セズ駐在所ヲ
 襲撃セントスル形勢ナリシヲ以テ嘯嘯激造
 隊ヲ將校以下十名ヲ急派セリ
 三、順安(平壤北方約八里)ニ於テハ六日午後四時群
 集約五百名警察署前ニ押シ寄セシムル
 テ主動者十七名ヲ逮捕シ一時解散シケルモ
 夜間未だ襲撃ノ慮アルヲ以テ午後九時將校以
 下十名ヲ平壤ヨリ急派セリ襲撃ニ加ヘリ
 シモノ内平壤ヨリ来リシモノハ江西ヨリ来
 リタルモノ四名アリ是等カ各地ヲ遊説煽切

シアルモノ、如シ

四、高果港（鎮南浦西方五里）ニ於テハ、廿日夜、群
 集、警察署ヲ襲フベシト、偵報アリシヲ以テ
 鎮南浦ニ派遣セシ部隊ヨリ、特校以下七名ヲ
 急行セシメ、午後十時、平地ニ着セシメ、多數
 朝鮮人ハ、警察署前附近ニ集合シ、燄火ヲタチ、大旗
 ヲ立テ、警察署ヲ襲撃セヨリシヲ以テ、之ヲ鎮
 壓、為テ遂ニ突包ヲ使用シ解散セシメ、タリ、朝鮮人
 死者一員、傷者七アリ

五、特校ニ於テハ、其後、平穩ナルモ、犯人渡送、為平
 壤ヨリ、特校以下一三名ヲ自働車ニ乗込、派

せり

六、平壤市街は日下平穩たる附近村落は所々
ニ野人群集し独立滿歲ヲ唱ふる者アリ發

戒中

七、京城ニ於テは甚後平穩ナリ

八、咸興及其附近村落ニ於テは時々群集不穩
ノ象アリ軍隊引燒キ出劫シ斃害官ニ協
力シ斃害戒中

大正
次官
高



第一〇二二番

八月八日

第一號

電報譯文 月七 日午前後 九時三十分發

大臣宛 發信者 朝鮮總督府官

85

(七) 電報譯文 延、為前電六條
得名情況在如之

五日下午一時 平北、車輦館約三〇〇、拜

軍起、步兵ノ救援ヲ得、四時鐘、壓死七者二

〇 檢査者有之、同日午後二時半、同道、由軍部

二約一五〇、蟬起五、逮捕ス、六日、同道、察、

郡内、毛不穩、兆アリ、警、戒中、〇、二日前、十時

中心南林川、三、天道、教徒、七、独、五、ヲ、認、タ、ラ、レ

空

0091

タレト請願シ脱奔ニ服セサルニ依リ分隊ニテ取調
 中。○六日前十時黃海道黃州ニテ學生一〇
 〇及三〇ノ二集團萬歳ヲ唱ヘ首謀者取調
 中。○五日午後一平南新盆浦ニ一〇〇〇ノ群
 衆起リ歩兵十ニ名兵三ニ名行セリ翌六日午後四
 時五〇〇ノ群衆同安兵駐在所ニ押寄セラル
 以テ主名モ十七ヲ逮捕シ名ニ衣籠ノ恐レアリ
 更ニ歩兵一〇名行方又同道 オンセイニ六六日
 正午三〇〇ノ群衆寧安官駐在所ニ赤松農
 害哨子ヲ破損シ二府退散セシカ同夜復々民四
 〇自軍合密議中ナルヲ解散セシメトシ名ニ叛抗シ

歩兵ノ奮死ニ依リ死者一員傷者一ヲ残シテ四
 散セリ尚同夜高田郡野田警署暴徒者ヲ籠束シ
 トスルノ状アリ歩兵七救接セリ○二十日午後四時半
 南徳川ニ三〇〇ノ群集起リ有謀者五〇核
 撃先鋒衛ス同道●漢成徒諷山
 地方ニモ約一〇〇〇ノ群集起リ歩兵ト協力鎮壓
 中又孟山ニシテ天道教徒三〇宣言書白
 ヲ配布シ萬歳ヲ唱ヘツアルモ未タ暴動ニ至
 ラス
 タイトウケン各地ニ數百ノ群集起リシモ警
 戒ニ依リ暴動ニ至ラズシテ解散首謀者ヲ檢束
 勉メアリ○二十日午後九時京畿道野城ニシテ

0093

一〇〇〇 薙集不 留置 人ヲ奪身還セシト 整言彦彦果者
 ニ殺到セシヲ回散セシタル又再ヒ結束セシトセシニ
 依リ步兵ニ應接ヲ得テ 追撃手シ 午後四時漸
 ク解散ス 此際 補中員一 巡查一 巡查補之員
 傷人民一 群集ヲ為 踏倒サレ 死セス 〇ノ日 午後
 三時 同樂ニ 一〇〇ノ 群集 起リ 首謀者一ヲ 逮
 捕 解散セシム 午後九時 同道 地境 野ニ 二〇〇ノ 夜
 四ニ 五老 野ニ 四〇〇ノ 群集 不 降 起シ 〇ノ 解散
 セシム 〇七日 朝 平 南 寧 遠ニシテ 天 遺 敵 徒
 三五 狂 五 萬 歳ヲ 唱ヘ 市中ヲ 練リ 廻リ 〇ノ 金 部
 逮捕セリ 又 平 壤 附近 村落ニシテ 〇ノ 韓 國

旗ノ樹ヲ列年ニ投石スルモノアリ五ノ檢果也

89

0095

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

0096

電報

三月八日

三月七日午後九時三十分發
八月午前一時十分着

總長宛 在 朝鮮憲兵司令官

90

七、電報遲延、爲前電(六)後得タル情況在、如シ

五日午後一時平北、車輦館ニ約三〇〇ノ群集起リ歩兵ノ急援ヲ

得テ四時鎮壓首謀者ニ檢擧シ同日午後二時半同道ユハ

ニエイニ約一五〇蜂起五人ヲ逮捕ス

六日同道寧平尹郡内ニモ不穩ノ徵アリ警戒中

六日午前十時忠南林川ニテ天道教徒七、独立ヲ認メラレタシ請

願シ説諭ニ服セサルヨリ分隊ニテ取調へ中

六日午前十時黃海道黃州ニテ學生一〇〇及三〇ノ二集團一カ歳ヲ

蟻ハ首謀者取調へ中

0097

五日午後平南新倉ニ、コロロ名ノ群集起リ歩兵二憲兵三急
行セリ翌六日午後四時五〇ノ群集同憲兵駐在所ニ押シ寄セ
タルヲ以テ主ナル者十七遠捕シタルニ夜龍衣ノ懼レアリ更ニ歩兵十
急行ス又同道温井ニテハ六月正午三百ノ群集敬言察官駐在
所ニ來集窓硝子ヲ破損シニ時退散セシカ同夜暴民四十集
合密議中ナルヲ解散セシメントシタルニ反抗シ歩兵ノ發砲ニヨ
リ死者一員傷者一ヲ殘シテ四散セリ尚同夜高梁鎮敬言察署
ヲ龍衣ハントスルノ情アリ歩兵七急接セリ

六日午後一時半平南徳川ニ三百ノ群集起リ首謀者五ヲ檢擧
ヲ俟ツテ鎮靜ス、同道近西、咸從、龍山地方ニ毛約千ノ群
集起リ歩兵ト協力鎮壓中又孟山ニテハ天道教徒三〇宣言

書ヲ配布シ方歳ヲ稱ハツツアルモ未タ暴動ニ到ラス同郡各地ニ數
百ノ群集起リシモ敬言戒ニ依リ暴動ニ到ラスニテ解散首謀者
ノ檢與手ニ努メアリ

92

六日午後九時京畿道開城ニテ千ノ群集留置人ヲ奪還セント
警察署ニ殺到セシヲ四散セシメタルモ再ヒ結束セントセシニ依リ
歩兵ノ應援ヲ得テ追撃シ午後十時漸ク解散ス此際補助員
一巡查一巡查補ニ負傷人民一群集ノ爲踏ミ倒サレ死ス
六日午後三時咸興ニ百ノ群集起リ首謀者一ヲ逮捕解散セシ
八日後九時同道地京里ニ二百及五郎里ニ四百ノ群集蜂起シタル
モ解散セシム

七日朝平南寧遠ニテ天道教徒三千五獨立方歳ヲ稱ハシ

0099

ヲ練リ廻リタルヲ全部逮捕セリ又平壤附近部落ニテ各個
韓國旗ヲ立て列車ニ投石スル者アリ五ヲ檢禁シ

秘

陸同文

三月八日

電報

三月七日午後六時三十分發
十一時七分着

總長

宛

在

朝鮮軍司令官

94

朝鮮特第十八号

一、開城ニ於テハ六日午後九時三十分 鮮人約一千數名ヲ署

ニ來襲セシヲ以テ同地鉄道掩護隊出動シ警官ト協

力シテ之ヲ解散セシメタリ警官中投而シテ負傷四、

二、新倉嶺^方ニ於テハ五日午後ヨリ 耶蘇教徒及私軍等

校生徒約一千名韓國旗ヲ携ヘ、独立^者ヲ唱ヘ、各方ニ強

制シテ同韓國旗ヲ掲揚セシメタリ警官之カ鎮壓ニ力セ

モ容易ニ鎮靜セズ駐在所ヲ襲撃スルノ形勢ナリシヲ以テ

順川派遣隊ヨリ將校以下士ヲ急派セリ

0101

三 順安(平壤北方約八里)ニ於テハ六日午後四時群衆約五百
敬言茶署前ニ押シ寄リセラルヨ以テ主謀者十七名ヲ逮捕シ
時解散シタルモ夜百米銃撃ノ虞アルヲ以テ午後九時將校
以下十名ヲ平壤ヨリ急派セリ銃撃撃シ加ハリレモ内平
壤ヨリ米リシモノ大江西ヨリ米リアルモノ四名アリ是等カ各地
ヲ誘説煽動シアルモノ如シ

四 高梁鎮(鎮南浦西方五里)ニ於テ六日夜群衆警言
茶署ヲ銃撃シテノ諜報アリレヲ以テ鎮南浦ニ派遣セ
部隊ヨリ將校以下七名ヲ急行セリ午後十時半同地ニ着
セシニ多数解兵ハ敬言茶署附近ニ集合シ燄火ヲ燒キ大旗
ヲ立テ、敬言茶署ヲ銃撃撃シセシトスルノ状況ナリシヲ以テ之ヲ

鎮庄ノ警邏ニ突包ヲ使用シ解散セシメタリ解人死者一
ノ負傷者ニアリ

五、成川ニ於テハ其後平穩ナルモ犯人ヲ護送シ爲メ平壤ヨリ將
校以下十三名ヲ自動車ニラシ急派セリ

六、平壤市街ハ自下平穩ナルモ附近村落ニ所々ニ解人群衆
シ狎ミ万歳ヲ唱スモアリ敬言戒中

七、市域ニ於テハ其後平穩ナリ

八、咸興及其附近部落ニ於テハ時々郡衆不穩ノ奉テアリ軍
隊引キ續キ出動シ敬言官ト協力シテ敬言戒中

閣

大臣閣

大臣閣

密第一〇二號 共三一

三月十日

第二二號

電報譯

三月十日

午後二時五十分發

97

陸軍大臣宛 發信者 朝鮮駐劄軍司令官

朝鮮第二三

一諸種之情報ヲ綜合スレハ京城ニ於テ十日午前十時ヲ期シ大率往五運動ヲ爲サントスル構振明カナリシヨ以テ騷擾ヲ事前ニ威圧スル爲步兵第一旅團ヨリ現在京城ニ派遣シアル部隊弁更ニ大隊長ノ指揮スル步兵三中队(十日朝ヨリ騎兵二小队ヲ附ス)ヲ九日午後一時京城ニ派遣シ警戒ニ任セシメ又砲兵中队ヲシテ十日未明ヨリ京城市内ヲ示威行軍セシメテ正午迄京城ハ靜

0104

穩ナリ

一 黃海道海州附近不穩ニ由リ新報瑞典ニ派遣セシ

步兵中隊ヨリ始一小隊ヲ同地ニ派遣セシム

二 慶尚北道安東ニ不穩朝鮮人某家ヨリシヨルヲ大邱

步兵一小隊ヲ十日同地ニ派遣セリ



第百二號 其之二

三月十日

第三一號

99

電報譯

三

月

十

日

午

後

二

時

一

八

分

分

著

陸軍大臣

宛

發信者

朝鮮駐劄軍司令官

朝鮮第二四

下會寧三九日午廿三時半約五百人群衆性之運動ヲ

起シ憲兵主謀者二十名ヲ逮捕シ一時靜止セルモ尚

下會寧

肉島、鮮人の不穩

100
0106

之運動開始
術ニ集會ヲ

時鮮人の百餘



200

大正八年三月廿六日
三月廿六日
受第四四號

0107

✓

密第一〇二號 其二

電報譯三

三月十一日 午後二時五分著

第三一號

99

0107

陸軍大臣宛 發信者 朝鮮駐劄軍司令官

朝鮮特等二四

一 會寧ニシテ九日午後三時半約五百ノ群衆独立運動ヲ

起シ憲兵主謀者二十名ヲ逮捕シ一時靜止セルモ尚

不穩ノ状アリ

二 關東ニ於ケル韓族會ニ七日朝鮮ニ於ケル独立運動開始

ノ消息ヲ知り七日ヨリ八日ニ亘リ釜井村及局市街ニ集會ヲ

催シ不穩ノ状アリ

三 平安南道寧遠憲兵分隊ニ九日午後一時鮮人約百餘

三月廿六日
大正八年三月五日
第四四號

名來襲之暴カヲ以テ前日未ノ物留者ヲ奪還セシト
 セシヲ以テ徳川ヨリ汎遣シアルリニ將校以下十名ノ害兵
 ト協カシテ之カ鎮壓ニカメ鮮人死者十五員傷者三十四
 ヲ出シ殊餘ニ捕縛セリ。害兵下士一員傷ス
 四平安北道中危険ニ憂アル北鎮守遣ニ將校以下二十
 名、萬城、泰川ヲ兼ホテ將校以下十一名ヲ宣川ヨリ汎遣
 セリ

3
 101

0108

大臣 閣 閣

密第一〇二號 共三三

三月十日

第四一號

電報譯三

三月十日 午前午後七時三十分 著

陸軍大臣

宛

發信者

朝鮮總督

第七号

黃海道海州不穩、倣アリ、同長官ヨリ出兵ヲ請求
 之来リ又慶尚北道安東ハ、虜ニ人心陰悪ナルヲ以テ
 豫メ冬一部隊ヲ派遣シ騷擾ヲ未然ニ防遏スルキ旨
 軍司令官ニ指示セリ

102

0109



朝鮮の電報

三月十日

第九一號

電報譯 三月八日 午前午後三時四十分發

大臣宛 發信者 朝鮮軍司令官 103

朝特第十九號

一 鉄山(車轆館南方約三里)ハ七日正午約五
午名群集シ郵便局ニ投石シ小刀類ヲ以テ反
抗セルヲ以テ鉄道掩護隊ヨリ同地ニ派遣セシ
下士以下七名ハ空包ヲ發射シタルモ鎮靜セズ
依テ實包ヲ使用シ即死ニ一員傷ニ。為テ出
シ主謀者ヲ取押ヘタリ此際銃剣一ヲ折損
ス定州掩護隊ヲ更ニ將校以下十名ヲ派遣

0110

セリ

二南市(車輦館西方三里)ニ於テハ六日午後

約二百名群集シ不穩ノ舉アリ警官ノ制

止テ南カス依テ鉄道護隊ヲ兵卒六名ヲ

派遣シ強恨力解散セシメ主謀者ヲ逮捕セリ

三徳川(安州東方約十五里)ニ於テハ六日以来不

穩ニシテ道長官ヲ兵力派遣ノ依頼アリシヲ

以テ七日前平壤ヲ將校以下三十名ヲ派遣

セリ

四漢波驛(平壤北方)ニ於テハ約一千名群集シ

附近ニテ燧火ヲ焚キ危險ナルヲ以テ平壤

104

0111

ヨリ將校以下十名ヲ派遣セリ

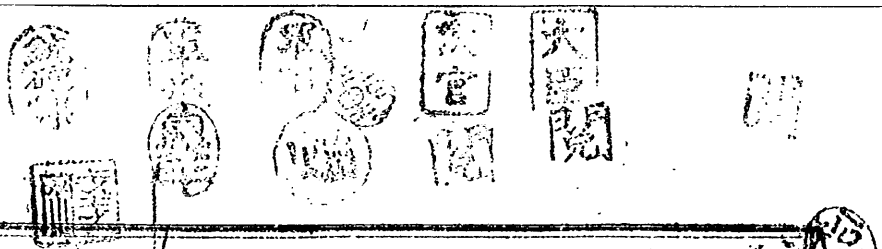
五. 成川、於テハ七日ニ回、巨リ群集憲兵分隊

ヲ襲ヒシモ解散セシム

六. 栗里(遂安北方六里)ニ於テハ七日多教、解

人手壞方面ヨリ侵入シ不穩、兆アリシヲ以テ遂

安派遣部隊主力ニ同地ニ急行セリ



密 一の二

三月十日

第一號

電報譯 三月

八日午後七時三十分
九日午前一時十分

大正八年三月十七日

大臣宛

徐信者

朝鮮憲兵隊司令官
警務局長

106

八、六日午後十時咸鏡南道本宮、群集百蜂起シ

解散セシム 七日正午同道 トウセツリ 百五十五、午後八時

定平ニハ二百、群集起リ共ニ解散セシメ定平ニ

テ関係耶穌教徒十三(内廿二)ヲ逮捕ス。七日

午佰京畿道 レコウコウヨツ 普通學校生徒百二十同

盟休校萬歳ヲ稱フ首謀者五ヲ引致訓戒ノ上

放還ス。六日午後二時平安北道南市ニテ二百、群集

0113

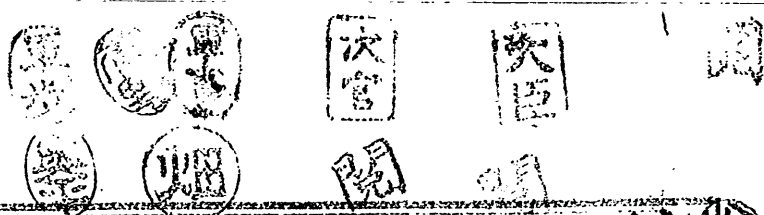
居リ歩兵六、急接ヲ受テ制壓シ有謀六ヲ
逮捕ス又同道鉄刺ハ七日正午暴民五千輝
起シ強硬ナル反抗ヲ為シ歩兵七八空包ヲ放テ
タル、益々反抗スルニ依リ遂ニ實弾ヲ用ヒ暴民
即死三、負傷約二十ヲ出し漸ク四散シ有謀
者ヲ逮捕ス○七日午前一時半安南通徳川、六百、群
集起リ四十ヲ逮捕シ解散セシム○同刻黄
海道石達ヲテ天道教徒四十集合駐在所ヲ襲
ハントセシヲ解散セシム○海城ニテハ朝鮮独立海
南城會ナルモノヲ組織シ規約制定中ナルヲ探知
シ関係者ニヲ列致取調中○七日午九時

0114

平安南道渡波、遂道上ニ約午、群集燐火ヲ
焚キ形勢不穩ナルヨリ憲兵警察官六歩兵
十ヲ臨時列車ニテ急派セリ

階
目

0116



第一〇二七

三月十日

電報譯

三月十日

午前午後九時五十分發

第四九號

陸軍大臣宛 發信者 朝鮮駐劄軍司令官

朝鮮第一九號

平安南北ノ暴動其後大ナル變化ナリ

109

一 出兵第一九旅團長ハ平安南北道成川方面ニ於ケル暴動ヲ速カニ鎮壓スル目的ヲ以テ平壤部隊ヨリ田部少佐ヲ率ユル一部隊ヲ更ニ成川ニ派遣シ平安北道長官ト連絡ヲ保持シ定州以北鐵道沿路

Handwritten signature or mark.

Vertical stamp or mark on the right side.

0117

附近ニ於ケル暴徒ヲ鎮壓セシム。該部隊ハ
 午後七時成川ニ到着スル筈
 徳川（軍部北東）ニ本日更ニ將校以下五十四名ヲ派遣
 一、該部隊ヨリ寧遠（徳川東北方約八里）ニ
 將校以下十名ヲ派遣シ徳川附近ニ蜂起
 セル暴徒ニ對シテハ適時之ヲ鎮壓セシム
 二、遼安派遣隊ハ前報ノ如ク栗里（遼北約五里）ニ増援セリトセ
 三、遼安地方ノ情況之ヲ詳サバリシヲ以テ軍兵ノ
 出勤セリ

110

0118

第 五 七 號

第 五 七 號

111

電報譯

五月 九日 午前 午後 十一時 三十分 著

陸軍大臣宛 發信者 朝鮮駐劄軍司令官

朝鮮特第二一號

八日午後三時大邱ノ學生約八〇名女子校生
約五〇名韓國旗ヲ携ヘ獨立萬歳ヲ唱ヘ市
中ヲ行進セシカバ八〇名ヲ逮捕シ解散セシメタリ
首謀者ノ主ナル者ハ耶蘇教牧師ナリ
在龍山總督府印刷工場ノ職工三〇名獨立ヲ
宣告シテ不徳ナリシニテ憲兵ニテ解散セシメ
主ルモノヲ逮捕試問中。

大臣

朝鮮

0119

右何とモ 少数ノ歩兵ヲ出セリ

112

0120



第 一 〇 二

三月十日

第七五號

電報譯

三月九日 午前午後 四時五分 著

陸軍大臣 宛 發信者 朝鮮總督 113

芽六郎

平壤附近及黃海道北部地方未々全ク

鎮靜ニ歸セズ而シテ粟里(遂安西北方約

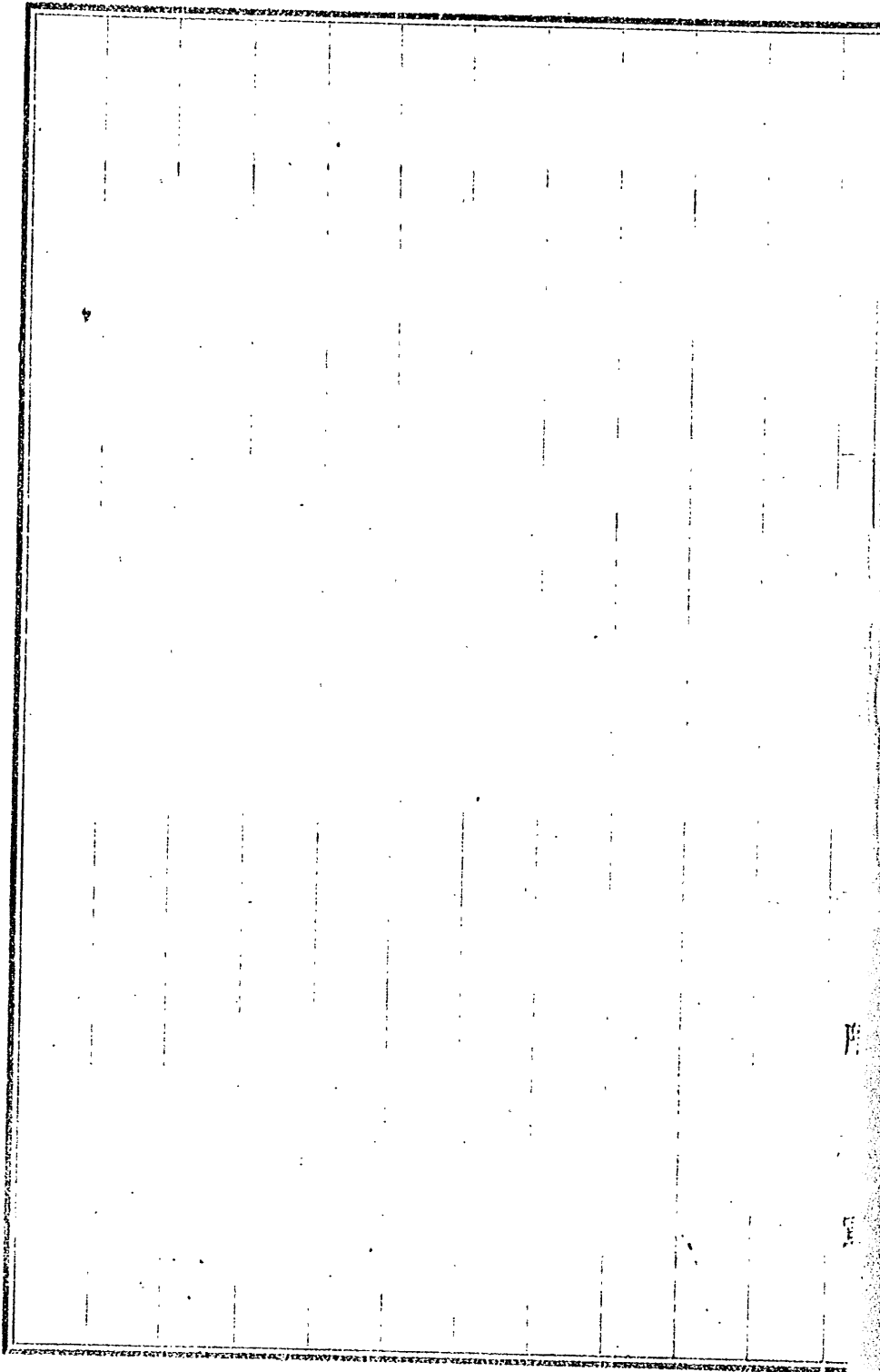
八里)附近目下不穩ノ兆アルヲ以テ軍司

令官ハ万一ニ備アル為今九日龍山屯在

部隊ヨリ歩兵約一中隊(將校以下約百名)

ヲ瑞興ニ派遣ス

0121



0122

電報譯文
 三月九日
 陸軍大臣宛
 發信者 奥島中將
 八日午後三時大邱ニ學生、集團起、漸成巡察ト協力百五十七ヲ逮捕ニ鎮靜セシメタルモ尚不穩、兆リ警戒中。
 八日午後六時龍山總督府印刷所職工約二十名門前ニ出テ、獨立ヲ唱テ唱ハタルヲ憲兵急行鎮壓、上主謀者引致取調ハ中。
 七日京釜鐵道新洞駅(大邱北)附近線

陸軍大臣宛

電報譯文 三月九日 午後七時五十分發著

陸軍大臣宛 發信者 奥島中將

第八八號

114

0123

日記
易於世

路上ニ廿餘員ノ火石ヲ置キアルヲ發見、犯人
嚴探中。

八日午後七時ハニカニコウ東方六里退潮ニテ
二百餘員起リニヲ逮捕解散セシム。

京城野人ノ本通ハ殆ント全部戸ヲ閉サ
シ電気會社車掌運轉手百二十名罷

業ニ運轉ヲ休止シ不穩ノ形勢アリ極力
警戒中。

七日午後三時黃海道馬山ニ天道教徒三十
員圍ス三名ヲ捕ハ解散セシム。

京城ニ於テハ逐次勞働者ニ波及セントスル

傾向アリ整成中。

116

0125

第 六 號

三月十日

電報譯

三月

十九

日午前

五時

五九分著

第 六 號

117

陸軍大臣宛

發信者

朝鮮駐劄軍司令官

朝鮮三郡

一、遂安方面：於テハ其後情況依然不穩ニ
 シテ九日遂安、谷山、新溪、^{カク}即チ耶蘇教徒
 ハ所々ニ集合シ新溪及瑞興ヲ襲ハントスル
 徵候アリ依リテ步兵第七十八隊隊ヨリ
 歩兵一中隊（百名）ヲ^也列日少佐ニ指揮セシメ
 九日龍山出立先瑞興附近ニ湖邊ニ鎮座
 ニ從事セリ云々

0127

二、平壤方面ニ於テ咸從（鎮南浦西北約六里）
 附近ニ於テ八日午後七時鮮人の約三百群集
 ン解散ノ命スルモ應セズ却ツテ反抗シタルヲ
 以テ鎮南浦ヨリ派遣セシ應接隊（將校
 以下十三名）ハ遂ニ實包使用ノ止ムナキニ至
 リ鮮人即死二、重傷一ヲ生シ主謀者
 ニヲ逮捕セリ。

118

四、義州方面ニ於テハ朔州（義州東方約十五里）

三、平壤附近犯人検挙ノ為ニ泊、予定ヲ以テ
 將校以下六十名ヲ派遣シ警察官ニ協
 力セシム。

0128

ニテ耶蘇教徒約五十名獨立運動ヲナサ
ントシ同地憲兵隊ヨリ報告アリシヲ以テ昌城
守備隊ヨリ將校以下五名ヲ派遣シ勦力
解散セシム。

119

五、京城ニ於テハ獨立運動ノ為電車車掌
運轉手ハ同盟罷工ヲナシ午後ヨリ運轉ヲ
休止スルニ至リ。

0129

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

片
三

0130

密 一〇二

電報譯

三月十日

九月十日

午前午後

七時

三五分

分發

第九二號

陸軍次官宛

發信者

朝鮮駐劄公使陸軍少將

陸二四ノ貴電拜讀、今回ノ事件、就

テハ全力ヲ盡シ鎮撫ニ勉メタルモ之ヲ未然

防遏シ得サリシハ遺憾至極、之レ小官不明

ノ致ス所慚愧ニ堪ヘス。

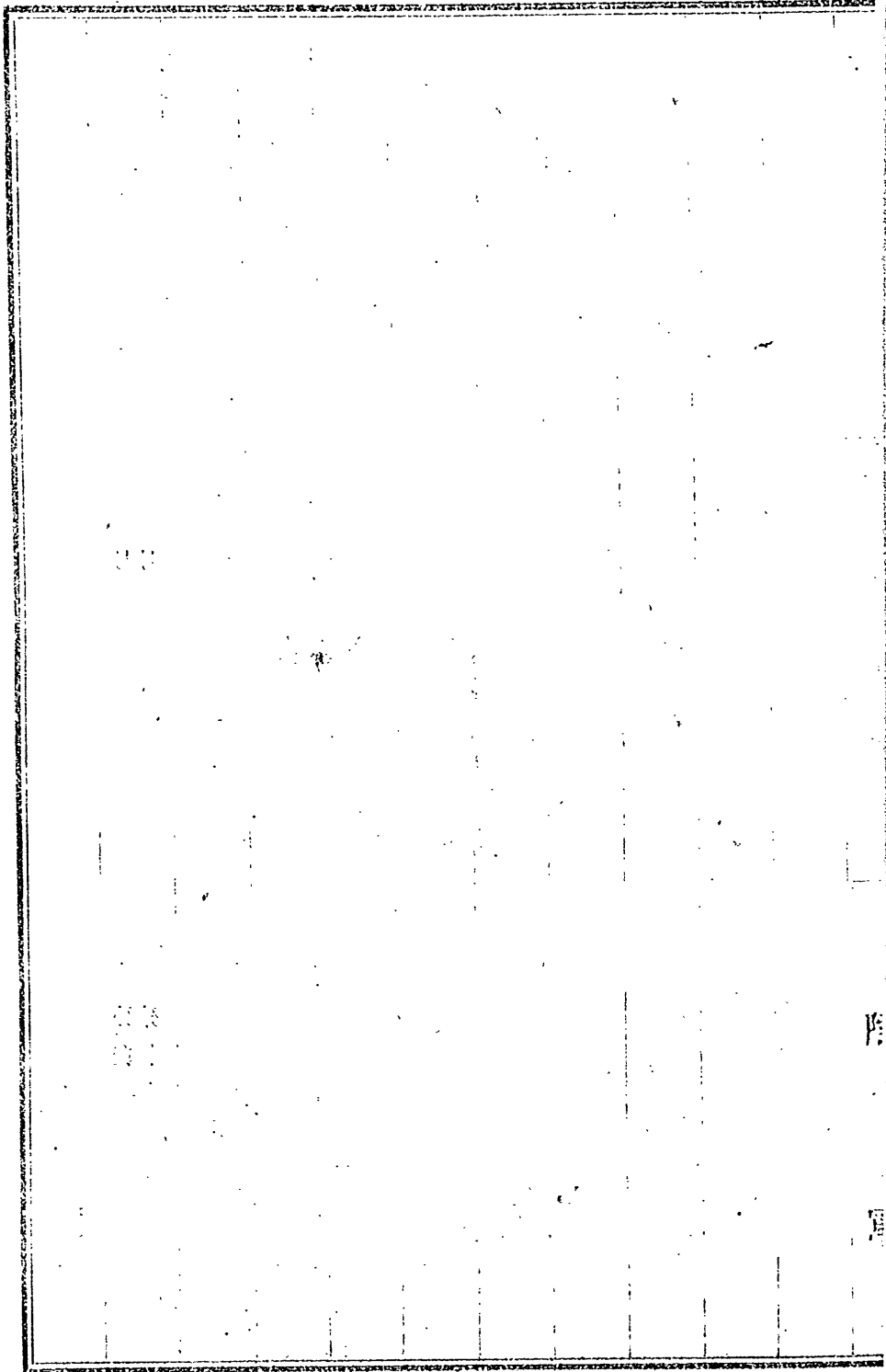
此際一層部下ヲ督勵シ鎮定ヲ速カナラシ

ムヘリ且將來ニ對スル所處ニ就テハ御意固

ニ副フコトヲ期ス。

120

0131



0132

譯長



運帶

五



大正八年參月七日



0133

軍務局軍事課

鮮今驛播之同文件

以官身朝鮮憲兵隊司令官官信、電報

陸一二四

三月八日共電

121

今同朝鮮各地之驛報已鮮人ノ暴動ノ甚範圍教
 道之百ノ驛播也^二其^一者^一驛分
 有^一驛^一其^一勃^一控^一後^一於^一名^一物^一物^一之^一微^一之^一暴^一民^一等^一
 脈^一結^一之^一傳^一強^一出^一象^一回^一之^一之^一強^一節^一播^一為^一之^一任^一之^一有^一有^一
 計^一画^一の^一強^一起^一之^一之^一之^一、^一如^一如^一中^一在^一國^一之^一對^一之^一之^一

幸に防過之候、御紙リ其際、
 今向、如手鑑接リ大ナリ、
 物之部々リ精勵シ石符、
 甚累、若之者迄、
 未熟ニテ、防過、
 度、何、
 御紙リ其際、
 今向、如手鑑接リ大ナリ、
 物之部々リ精勵シ石符、
 甚累、若之者迄、
 未熟ニテ、防過、
 度、何、



第 一 〇 二 號 共 二 三

電報譯

三月十日 日午前後

九時五分 著

三月十日

第九號

123

大 宛 發信者 况 島

(一) 九日平南之會遠、予更道教徒一五〇
 名、柔龍衣出、ト協力鎮壓、目暴民、即死
 一五員、傷三〇、余逮捕七〇、余室多下士一重
 傷、生命危篤、又江海濟會、一〇〇、群衆
 起、暴民、負傷四、出シ、二〇、逮捕解散ス〇
 八日威南北青、八五五〇、九日大印仁川等、一
 〇〇、乃至一〇〇、群衆起、シ、何レモ解散セ
 リ〇、幸、二、十日、更、目暴、初、況、九日、以、来

0135

實、先考三牛隊騎方一少隊ヲ増員シ引續
キ聖戒甲電事奉奉年等ハ漸次復職ヲ申
出市内異状ナレ

第一〇二號 共三〇

三月十日

第一七號

電報譯

三月十日

日午前後

六時

三五分

分著

125

大臣宛 發信者 朝鮮駐劄軍司令官

朝鮮第三五号

一、京城ハ概シテ靜穩ナリ前報電報同盟羅工ニ関シ
テハ車掌等漸次復職シ申出ルル状態ニ在リ高麗義
ヲ要スルヲ以テ機前歩兵大隊ハ京城ニ在リテ警備
セシム

二、平安南道方面ノ情况

肅川(平壤ノ北平電)ニ於テ九日晨本陣約三百名
軍ヲ東麓一帯解散セシメ狀況不穩ナルヲ以テ特務隊

空 專

0137

長以下二十一名ヲ派遣ス其後平穩ナリ

中和及長永院ノ平穩ナリテテ軍隊ヲ撤去ス

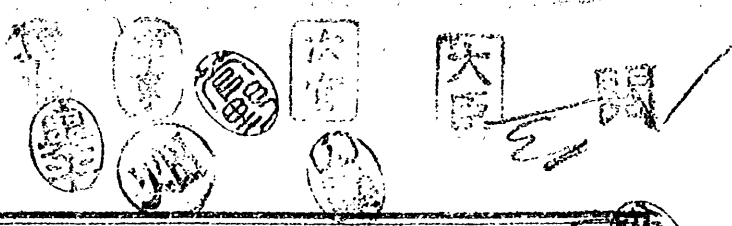
三威鏡南道方面情況

北青(威興東北二十里)ニ於テハ八日約二百五十名ノ朝鮮

人軍人合セルヲ以テ解散セシメタリ新興(威興ノ北七里)

ニ於テハ九日約八十名ノ朝鮮人郵便局前於テ方

威ヲ略ヘタルヲ以テ解散セシメタリ



第一のニ號共口

三月十一日

第二一號

電報譯

三月十一日

日午前午後

六時

五分

大臣宛 發信者

総督

127

三、全羅南道方面ノ情况

光州ニテ 耶蘇教徒ヲ主トスル 群衆暴

動セシメ 如ク 鮮人若クハ 傷シ 警官之ヲ

解散セシメタリ

四、黄海方面ノ情况

十日 海州ノ西七里ヨリ 天理教徒ヲ中心ト

スル 數百ノ 群衆 独立 發シ 海州ニ向

ヒ 前進ス 警官 官長之ヲ 解散セシメタリ

0139

兵 百載軍部以宗ノ耶蘇教徒シ主カ
 トスル約四千ノ部衆韓國語ヲ掲テ
 独立欲シ欲ヒシヨリテ警備官之ヲ制セシメ
 聘カス為ニ載軍ノ憲兵ノ隊ヨリ上ヨリ兵以
 下四名歩兵下士以下四名ヲ薦授ス

閣
大臣
次官
軍事
田中

第102號 共四五

三月十日

大正八年三月十一日

高橋 閣書記官長

田中陸軍大臣 殿

本日總理大臣より朝鮮總督、別紙寫ノ
通發電相成候向為御参考及送付候

本館大印

129

内閣

0141

秘

(8)

原内閣總理大臣

長谷川朝鮮總督宛

至急 親展 官報

130

今回ノ騷擾事件ハ内外ニ對シ表面上
 三極ナク輕微ナル向題ト看做スラ必要
 トス然レトモ裏面ニ於テハ嚴重ナル處置
 ヲ採リ將來再發ナキ様期セシ度但シ
 其ノ處置ニ就テハ外國人ノ最モ注目スル

0142

尚題 十九ニ依リ苟モ残酷苛察ノ批評
ヲ招カサルニ十分ノ注意相成度

131

0143